

## 3,「観光面での危機管理について」を質問!!

## 問

災害時の多言語  
化、多言語標識、  
通訳ボランティア  
の配置や訓練は?

## 答

町ホームページに観光庁と自治体国際化協会が外国人向けに多言語生活情報や災害時情報提供アプリに関する案内掲載。  
多言語標識は、指定避難所に英語と国際規格の非常口サイン、避難所サインの案内標識設置。通訳ボランティア配置は、県多言語コールセンター電話通訳サービスを活用。避難誘導訓練は他の自治体を研究し取り組んでいく。

## 町長

最近販売された74言語、105ヵ国対応のポケット通訳機が活用できれば町として購入し様々な場所に置くことも可能と考える。



©KOMEITO

## 問

当町の観光客はアジアの方が圧倒的に多いが、英語標識だけでなく、韓国語、中国語の標識が必要では



## 答

検討の余地はある。町では、災害対応のWi-Fi、フリーWi-Fiを整備したいと考え、町と観光協会、商工会、旅館組合、食品衛生協会、通信業者による協議会を立ち上げ進めている。新年度4カ所整備予定。

## 問

外国人被災者の避難所運営はどうなっているのか?避難訓練に外国人の永住者に参加頂き、課題検証してはどうか?



## 答

英語通訳は観光協会に数人いるが、今後職員にも多言語通訳可能な職員が必要。  
通訳ボランティア配置は、ボランティア自身被災者になる可能性があるため、ボランティアセンターが立ち上がった後考えるが、災害発生時には難しい。訓練参加はできるが検討していきたい。

## 問

イスラムの観光客の方が被災した場合食べれる「ハラール認証」の備蓄は?

## 答

アレルギー対策も含め総合的に検討しなければいけない課題と考える。

## 問

災害時におけるホテル協会や旅館組合との協定は?

## 答

観光協会、防災係、観光経済課で協議し、観光振興センターを外国人観光客の避難所に指定、有事の際は、外国人観光客の避難先の拠点とする。  
過去の協議で協定まで至らなかったが、旅館組合からは、事前協定がなくても、被災者の受け入れ対応や避難所の炊きだし等できる限り協力するとの回答を頂いている。

## さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

## ごあいさつ

昨年は皆様にご大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

本年6月15日、16日両日に行われますG20関係閣僚会議では、20ヵ国から「環境大臣・経済産業大臣」が参集する大変大規模な重要会議が開催されます。大成功で終わる事を願うばかりです。

さて、昨年12月会議では、「住民の皆様を巻き込んでの環境教育」を質問させて頂きました。

今や、海洋プラスチックゴミ、マイクロプラスチックゴミ、マイクロビーズ、生活排水の問題は世界規模での問題ですが、海洋ゴミの70%が河川からの流入という指摘もあり、食物連鎖にも関わる事ですので、私達人体にも影響を及ぼす大変恐ろしい問題でもあります。

小さなことではありますが、私達が今からでもできることは沢山あります。私もペットボトルからマイボトルに替え、買い物バックを持ち、月一回、湯川ふるさと公園清掃ボランティア活動にも取り組んでいます。

最近、湯川沿いのプラスチック系ゴミが増えています。

皆様も是非、ゴミ削減に御協力をお願いします。

イラスト：齊藤暁雄



## 平成31年度 法律相談（上田会場）

<日 程> 3月9日（土）  
<時 間> 午後13:30～  
<場 所> 上田市大手町コミュニティセンター2階  
<弁護士> 土屋準弁護士 ○予約受付は川島まで

\* 公明新聞の御購読をお願いします。  
(日刊1ヶ月1,887円、日曜版293円)  
(電子版 日刊月額1,500円・日曜版250円)  
川島さゆり TEL 080-9804-7656 まで



©KOMEITO

# 2018年 12月会議一般質問から

イラスト：斉藤暁雄



## 1, 「SDGs (エスディージーズ) 持続可能な開発目標について」を質問!!

2015年9月国連において、SDGs (持続可能な開発目標) は、「誰ひとり取り残さない」との理念を掲げ、貧困のない持続可能な世界を次世代に受け継いでいくことをめざし、2030年までに達成する17の目標、169のターゲット、230の指標を示し、す

でに世界規模での取り組みが始まっている。県は、昨年6月全国初のSDGs未来都市に選定され、信州から世界への発信をしている。そこで、町長次期公約の「軽井沢版SDGsの推進」について伺う。

### 問い

「軽井沢版 SDGs」は、どのようなものを考えているか?



### 町長

SDGsという重要な道しるべに沿って進めていく。信大、東大連携協定の課題も捉え、SDGsという問題の中で進めていく。すでに職員を研修に行かせ、情報入手に努めている。SDGs未来都市選定制度もあるので検討していきたい。

## 2, 「環境対策について」を質問!!

SDGsターゲット「2025年までに海洋ゴミや富栄養化を含む、特に陸上活動における汚染など、海洋汚染を防止し、大幅に削減する」は、首相が、G20でこの問題に取り組むと宣言しているように課題として出することは間違いない。G20をきっかけに、住民を巻き込んでの「環境教育」を推進できないか伺う。



### 問い

G20カウントダウンイベントで3R (リデュース・リユース・リサイクル)、住民を巻き込んでのゴミ問題、啓発活動を環境省とタイアップしてできないか?



### 答え

3Rやプラスチックスマート等環境教育に関する啓発活動も併せて行う。

### 問い

住民を巻き込んでの環境教育、啓発活動を?

### 答え

すでに様々な団体と実施しているが、環境省「プラスチック・スマートキャンペーン」に町の取り組み登録。今後エコバック配布実施。子ども、大人も含め分かりやすい趣向を凝らした環境教育、啓発活動を検討実施していく。

### 問い

エコバック配布もいいが、大型商業施設にレジ袋の有料化を促せないか?

### 答え

過去にはあるが、業界団体の反対で進まず。今回は環境省からも働きかけがあるので、町からはしないが、国の動向を注視し、アンテナを高くして対応していく。

### 問い

マイクロプラスチックゴミは河川からの流入が70%との指摘があり、当町でも他人ごとではない。ゴミ問題は町の問題である。河川的环境パトロールはしているのか?



### 答え

信濃川を守る協議会佐久ブロック春秋2回河川パトロール実施。佐久漁業組合河川浄化対策事業に協力、町内河川の不法投棄監視や清掃活動実施。年4回河川等水質検査時に不法投棄監視や清掃活動実施。じん芥処理場職員により町内主要幹線道路の不法投棄パトロール、収集活動を実施。

### 問い

ペットボトルからマイボトルへの推奨キャンペーンは?



### 答え

マイボトルの推奨は町独自でできるので広報1月号を通じて啓発活動していく。

## 3, 「観光面での危機管理について」を質問!!

昨年9月の台風、北海道胆振東部地震では、関西、新千歳空港が閉鎖、札幌市内ホテルではブラックアウトにより観光客に大きな影響が出た。年間850万人もの観光客を迎える当町においても例外ではないことから伺う。



### 問い

観光施設は、事業者が避難計画、避難訓練を実施義務があるか?

### 答え

事業者の実施義務については、避難計画、避難訓練実施等防災活動に努めてもらえるように働きかけていく。